

重点課題 I	糖尿病対策の強化
目指すべき姿(目標)	地域・学校・職場・関係機関の連携を通じて、個人の健康を支え・守る環境づくりを進め、糖尿病の発症予防と重症化予防を推進していきます。
現状と課題	<p>【現状】 ○「糖尿病が強く疑われる者」(※1)は年々増加している状況にある。 糖尿病は、重症化し合併症を発症すると、個人の生活の質を低下させ、生命予後を左右することから予防が大切である。予防には、生活習慣の改善や健診・保健指導が重要である。特定健診受診率は管内市町国保41.8%、特定保健指導終了率52.3%であり、市町によって差が見られる。 ○新規人工透析導入患者のうち、原疾患が糖尿病性腎症であるものの割合について、山梨県では全国より高い値で推移している。</p> <p>【課題】 ○糖尿病の発症には、運動・食生活・喫煙・飲酒などの生活習慣が大きく関与していることから、生活習慣の改善としての一次予防と、健診・保健指導の二次予防を効果的に推進する必要がある。 ○糖尿病の重症化予防、特に糖尿病性腎症によって人工透析に至らないよう療養環境を整える必要がある。</p>
山梨県地域保健医療計画での位置付け	第5章 第4節「糖尿病」 第6章 第1節「健康づくり」

施策の展開	行動計画	工程表(年度別事業計画)						数値目標		
		H30 (2018年)	H31 (2019年)	H32 (2020年)	H33 (2021年)	H34 (2022年)	H35 (2023年)	策定時－6年後 (H35/2023年)		
○適切な生活習慣(運動、食事、喫煙、飲酒など)についての普及啓発に併せ、必要な健診・指導が受けられるよう関係機関・者と連携して働きかけを行い、健康づくりの環境整備を進めます。 ○糖尿病が疑われる人のフォローの徹底を図ります。 ○糖尿病性腎症の重症化予防を進めます。	○地域・職域保健連携推進協議会、及びワーキンググループを開催し、地域の健康状態の把握、課題の整理、啓発資料の作成により糖尿病予防・重症化予防のための環境整備 ○ソーシャルキャピタル(※2)と連携した普及啓発 ○保険者等の取り組みを圏域で支援 ○山梨県糖尿病性腎症重症化予防プログラム(※3)の周知と活用 ○CKD(※4)に関する正しい知識の普及 ○早期治療に向けたCKD病診連携システム(※5)についての周知							○管内(国保)特定健診受診率 41.8%(H27)－60%以上 ○管内(市町国保)特定健診保健指導実施率 52.3%(H27)－60.0%以上 ○糖尿病性腎症に対する人工透析実施件数(山梨県) 1,527人(H27)－1,510人		
		会議の開催								
		ワーキングの開催								
		連携事業の実施								
		地域住民への普及								
		情報共有								
保健医療関係者への周知、及び活用										
地域住民への普及										
医療機関への周知										